様式第７号（第８条関係）

令和７年１１月１２日

（あて先）三鷹市議会議長

議員行政視察に係る結果報告書

会派名　参政党　　代表者名　蛯澤　征剛

１　視察年月日	令和７年１１月１０日（月）～ 令和７年１１月１１日（火）（１泊２日）
２　視察者氏名	蛯澤　征剛　　計　１　人
３　視察先及び視察項目	（１）大阪府　泉大津市 ア　泉大津市健康づくり推進条例に基づく未病予防対策推進都市をめざした取組について イ　未病予防コンディショニングについて ウ　合成燃料製造、発電装置（SUS-ENE）について エ　食に関する取組について
４　視察結果等	ア　少子高齢化が進む中、要介護や認知症の増加が課題となり、従来からの生活習慣病対策に新しい健康づくり対策を加えて計画を策定。QOL（生活の質）の向上と健康寿命の延伸を目指し、「健康状態の見える化」、「食育の推進」、「学びの場の充実」、「多様な選択肢」の４つの柱で取組を進めている。特に「健康の見える化」の市独自の検査やフィードバックの充実、そのフィードバックをもとにした食のセミナーは、本市においても十分参考になると考えられる。 イ　新型コロナウイルスが猛威を振るったことから、ワクチンだけでなく自身の免疫力や自然治癒力を高めることで、感染予防を促し、重症化予防を目的としたコンディショニングプログラムを提供している。コロナ感染や予防接種後の体調不良の相談だけでなく、その後のプログラムを案内することで健康の保持増進に繋がることは、本市でも参考にするべき視点であると考える。 ウ　日本はエネルギー自給率が極端に低い国であることから、企業との連携協定のもと、泉大津市をフィールドとして「SUS－ENE 合成燃料生成装置」及び、発電機を設置し、エネルギー生成や確保に関する実証実験として取り組んでいる。水と二酸化炭素から軽油を生み出す新しい技術で、企業と連携しているという点では国内初の試み。生成された軽油を用いて発電をすることで、緊急時や災害時にも活用を目指すとのこと。本市のふじみ衛生組合との連携など、今後幅広い施策に展開できる可能性がある事業であると考える。 エ　泉大津市では、安定的な食料の確保とより安全で栄養価の高い米を市民へ提供することを目指し、北は北海道から南は沖縄まで、１０を超える自治体と連携をしている。生産地から直接仕入れる新たなサプライチェーンの構築により価格面でも学校給食などに安定的な供給を実現しているだけでなく、令和６年度の米騒動の時にも、防災訓練の一環として価格を抑えた米を市民に提供する機会を可能にしている。本市は、泉大津市同様に米の自給が全くできない自治体である。本市では、姉妹都市連携による特別栽培米などの直接購入を実現しているので、理念と目的をはっきりさせれば生産地から直接仕入れる取組も可能であると考える。また、泉大津市では、安全で栄養価の高い米を学校給食だけでなく、マタニティプロジェクトとして妊婦への提供も事業化して、市民の健康の保持増進に努めている。この点においても、健康施策や子育て支援という視点からも検討に値すると考えている。

三鷹市議会
7.11.12
第 637 号
受付